

## 令和8年度 小海高等学校 学校評価表

学校教育目標		8年度重点目標	
日本国憲法に基づき心身の調和的発達を図るとともに、将来社会の発展と文化の創造に寄与できる人間を育成する。		1 一人ひとりの進路実現に向け、学力の定着と主体的、探究的な学習のための授業改善をはかる。	
重点目標（中長期的）		2 生徒の自主活動や自律活動を支援し、生徒会活動・HR活動を通して充実した学校生活を送ることができるようにする。	
地域から信頼される学校 生徒の進路を保証する学校 全人的発達を促す学校		3 豊かな人間性、生きる力を育てると共に、いじめや体罰のない安心安全な環境を確立する。	
		4 家庭・地域・社会との連携を強化し、地域の活性化に貢献していく。	
教育活動	8年度重点目標	評価項目	評価の観点
	1 一人ひとりの進路実現に向け、学力の定着と主体的、探究的な学習のための授業改善をはかる。	高校3年間を見通した進路指導の構築、各生徒が希望する進路の実現 生徒の学習意欲・学力向上につながる教育課程および授業づくりに向けた取り組み	進路実現に向けた、各年次における段階的な進路指導計画を、生徒の実情をふまえて適切に立案し実行できたか。 生徒の進路希望を実現するために、学習意欲・学力向上に関わる取り組みができたか。
学校運営	2 生徒の自主活動や自律活動を支援し、生徒会活動・HR活動を通して充実した学校生活を送ることができるようにする。	生徒主体の活動の推進および、多様な他者との協働による活動の充実	生徒会企画の行事および日常の委員会活動に生徒が主体的に参加し、生徒同士の協働を通して、学校生活に積極的に関わろうとすることができたか。
	3 豊かな人間性、生きる力を育てると共に、いじめや体罰のない安心安全な環境を確立する。	人権の意義・内容や重要性について理解し、人権が尊重される社会づくりにむけて行動できる姿勢の育成 一人ひとりの生徒に寄り添った相談活動、支援体制の充実、外部機関との連携の推進	人権問題について諸資料を活用しながら多角的に考えさせ、人権意識を向上させる指導ができたか。 いじめ・不登校など悩みや問題を抱える生徒に対し、担任や生徒支援係、カウンセラーなどが連携を図り、問題の改善に向けた支援ができたか。
	4 家庭・地域・社会との連携を強化し、地域の活性化に貢献していく。	PTA活動・生徒募集に係るPR活動の充実	円滑なPTA活動の運営により、地域活性化に寄与するとともに、ホームページや地元の小中学校に対するPR活動が行えたか。
		地域を活用した学習の実施	地域について学んだり、地域活動への積極的参加を通して進路選択の幅を広げるための指導ができたか。